

東北町議会だより

第 54 号

発行 青森県東北町議会
編集 議会広報特別委員会
電話 0176-56-3111
内線 310
住所 東北町上北南四丁目
32-484



平成30年10月5日 本会議終了直後の議場
第4回臨時会（改選後の初議会）

主 な 内 容

- ◆東北町議会議員の紹介 2 P
- ◆東北町議会各種委員会等名簿 3 P
- ◆決算審査特別委員会 4 P
- ◆決算審査報告要旨 5 P
- ◆9月定例会で審議された議案等 6 P
- ◆一般質問 7 P
- ◆各委員会の活動 9 P
- ◆委員会報告 10 P

議長就任あいさつ

東北町議会議長

笹倉

健



この度の町議会議員選挙の結果を受けて、10月5日の臨時会において、不肖私が第6代議長に選任されました。誠に身に余る光栄と存じますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

私事ではありますが、本町の合併協議の際は、旧東北町の合併調査特別委員会委員長として合併協議会において議論を積み重ね、今日に至っておりますことは、誠に感慨深いものがあります。その合併から12年が経過し、その間2万1千人弱の人口が1万7千人台まで減少しました。町の基幹産業である第1次産業については、農家数の減少や就業者の高齢化の進行、後継者不足などの問題が深刻

化しています。また、近年、貿易自由化の動きの中で、農業は大きな打撃を受けることも懸念されています。

これら地方自治体を取り巻く環境は年々複雑化しており、また、人口減少や少子高齢化が今後も続くことが想定される中、今後の行政運営は一層厳しさを増していくものと思われまふ。本町においても、地方分権の進展への対応や人口減少社会の課題を克服するための地方創生への取り組みなど、喫緊の課題が山積しております。

このような重要な時期に私のような、浅学非才の者が議長として、町の将来進むべき道を誤らないよう、議員各位のご協力を得ながら、公平かつ円滑な議会運営に努めますとともに、執行機関と議会が一体となつて住民福祉の向上を目指し、職責を全うする所存であります。

どうか、町民の皆様におかれましては、今後なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

東北町議会議員の紹介

(任期 2018年10月1日～2022年9月30日)



沼山 浩 幸



蛭名 竜 也



新山 忠 幸



坂本 直 大

副議長
田嶋 悟

市川 俊 光



岡山 粕 男



和田 勇 人



瀬川 武 春



沼山 英 隆



蛭沢 正 紀



甲 地 昇



蛭沢 正 雄



蛭沢 達 也



米倉 俊 男

議会各種委員会等名簿

議長 笹倉 健

副議長 田嶋 悟

◎総務企画常任委員会（6人）

委員長	瀬川 武春	
副委員長	市川 俊光	
委員	笹倉 健	蛭澤 正雄
	岡山 粕男	新山 忠幸

◎原子燃料サイクル対策等特別委員会（5人）

委員長	沼山 英隆	
副委員長	坂本 直大	
委員	蛭澤 正雄	市川 俊光
	蛭名 竜也	

◎産業建設常任委員会（5人）

委員長	沼山 浩幸	
副委員長	坂本 直大	
委員	蛭沢 達也	田嶋 悟
	蛭名 竜也	

◎基地対策特別委員会（5人）

委員長	岡山 粕男	
副委員長	瀬川 武春	
委員	蛭沢 達也	田嶋 悟
	新山 忠幸	

◎教育民生常任委員会（5人）

委員長	沼山 英隆	
副委員長	和田 勇人	
委員	米倉 俊男	甲地 昇
	蛭沢 正紀	

◎小川原湖環境保全対策特別委員会（5人）

委員長	蛭沢 正紀	
副委員長	沼山 浩幸	
委員	米倉 俊男	甲地 昇
	和田 勇人	

◎議会運営委員会（7人）

委員長	蛭沢 正紀	
副委員長	蛭澤 正雄	
委員	瀬川 武春	沼山 浩幸
	沼山 英隆	蛭沢 達也
	和田 勇人	

◎議会広報特別委員会（6人）

委員長	田嶋 悟	
副委員長	市川 俊光	
委員	瀬川 武春	沼山 浩幸
	沼山 英隆	蛭名 竜也

◎中部上北広域事業組合議会議員

議員数4人	蛭沢 正紀	岡山 粕男
	沼山 英隆	和田 勇人

◎十和田地区食肉処理事務組合議会議員

議員数2人	瀬川 武春	沼山 浩幸
-------	-------	-------

◎監査委員

監査委員	岡山 粕男
------	-------

◎上北地方教育・福祉事務組合議会議員

議員数1人	坂本 直大
-------	-------

健全化判断比率は基準値を下回り良好



決算審査特別委員会
副委員長 沼 山 浩 幸



決算審査特別委員会
委員長 蛭 名 竜 也

29年度歳入歳出決算額

（単位：円）

会 計 別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一 般 会 計	12,362,652,082	12,047,024,889	315,627,193
国民健康保険事業特別会計	2,792,990,687	2,698,333,490	94,657,197
後期高齢者医療特別会計	179,794,646	176,795,839	2,998,807
介護保険特別会計	2,759,985,966	2,679,521,971	80,463,995
介護サービス事業特別会計	22,444,791	22,203,432	241,359
農業集落排水事業特別会計	155,149,539	152,483,161	2,666,378
公共下水道事業特別会計	702,965,552	699,068,466	3,897,086
上 水 道 事 業 会 計	496,180,182	422,510,257	73,669,925

健全化判断比率

（単位：%）

区 分	平成29年度東北町の比率	国の示す早期健全化基準
①実質赤字比率	－	14.11
②連結実質赤字比率	－	19.11
③実質公債費比率	10.30	25.00
④将来負担比率	90.80	350.00

※①～④のうち1つでも国の示す早期健全化基準を超えると、財政健全化計画の策定等が義務付けられる。

①実質赤字比率と、②連結実質赤字比率は黒字のため「－」で表示している。

資金不足比率

（単位：%）

区 分	平成29年度東北町の比率	国の示す経営健全化基準
上水道事業会計、農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計	－	20.00

※資金不足比率は、資金不足額が生じていないことから「－」と表示している。

◎9月定例会

9月定例会は、9月6日招集され13日までの8日間で開催されました。

9月6日に決算審査特別委員会を設置（委員長 蛭名竜也議員、副委員長 沼山浩幸議員）し、9月12日に各会計8件が慎重に審

議されました。9月13日の本会議（議案審議）においてその内容が報告され、原案どおりいずれも認定されました。また、本会議では市川議員が一般質問に立ち、活発な議論が交わされました。

29年度各会計決算8件を認定

基金現在高の状況(運用基金は現金分)

(単位：千円)

	前年度末現在高	決算年度末現在高	増 減
	H28年度	H29年度	
ふるさと創生人材育成基金	20,205	15,211	△ 4,994
ふるさと水と土保全対策基金	1,010	1,010	0
財政調整基金	1,507,768	1,356,531	△ 151,237
減債基金	425,881	425,921	40
公共施設等整備基金	228,140	181,164	△ 46,976
スポーツ振興基金	1,320	682	△ 638
下水道事業債償還基金	30,141	34,162	4,021
交通遺児基金	111	111	0
学校林売払基金	4,126	4,126	0
合併振興基金	1,172,597	1,055,556	△ 117,041
妊婦健康診査事業基金	23,691	19,815	△ 3,876
幼児医療費助成事業基金	7,082	1,642	△ 5,440
小学生医療費助成事業基金	47,441	68,671	21,230
消防施設整備基金	0	0	0
ふるさと再生基金	14,668	19,379	4,711
交通施設整備基金	33,761	0	△ 33,761
学校教育支援員設置事業基金	58,257	45,303	△ 12,954
介護保険給付費準備基金	33,108	37	△ 33,071
土地開発基金	245,296	245,298	2
奨学基金	228,795	229,081	286
高額療養費貸付基金	5,000	5,000	0
肉用繁殖牛特別導入事業基金	8,448	8,448	0
農業集落排水事業債償還基金	0	1,100	1,100
任意インフルエンザ予防接種助成事業基金	0	10,000	10,000
がん検診事業基金	0	49,246	49,246

地方債現在高の状況

(単位：千円)

	前年度末現在高	決算年度末現在高	増 減
	H28年度	H29年度	
一般会計	12,744,191	12,447,202	△ 296,989
農業集落排水事業特別会計	647,944	627,947	△ 19,997
公共下水道事業特別会計	4,694,582	4,650,461	△ 44,121
簡易水道事業特別会計	1,904,709	-	△ 1,904,709



平成二十九年年度一般会計、各特別会計及び公営企業会計の歳入歳出決算書並びに付属書類を審査した結果、各決算とも法令の規定に準拠して作成されており、計数は正確であり、適正であると認められた。

基金の運用状況については、調査に基づき関係帳簿等を照合した結果、計数は正確であり、運用状況についても適正に処理されているものと認められた。

健全化判断比率及び資金不足比率については、その算出過程に誤りはなかった。算定の基礎となる事項を記載した書類は、適正に作成されているものと認められた。

東北町代表監査委員
乙 供 義 雄

決算審査報告要旨

9月定例会で審議された議案等

◎平成29年度東北町健全化判断比率 報告済

◎平成29年度東北町資金不足比率 報告済

◎平成29年度株式会社おがわら湖事業報告及び決算報告 報告済

◎平成29年度青森県新産業都市建設事業団特定事業の決算報告 報告済

◎平成29年度青森県新産業都市建設事業団特定事業以外の事業の決算報告 報告済

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 報告済

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 報告済

◎平成29年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で認定

◎平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算

・予算の総額に397万5千円を追加し、総額を1億868万5千円とするものです。

◎平成30年度介護保険特別会計補正予算

・予算の総額に777万9千1千円を追加し、総額を29億6万9千円とするものです。

◎平成30年度介護サービス事業特別会計補正予算

・一般会計繰入金から24万円を減額し、同額を繰越金に追加するものです。

◎平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算

・予算の総額に133万8千円を追加し、総額を1億761万6千円とするものです。

◎平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で可決

◎平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で可決

◎平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で可決

◎平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で可決

◎平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で可決

◎平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で可決

◎平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で可決

◎平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定 全会一致で可決

◎東北町監査員条例の一部を改正する条例

・例月出納検査日の改正を行うものです。

◎東北町長職務執行者の給与等に関する条例を廃止する条例

・東北町長職務執行者の給与等に関する条例を廃止するものです。

◎東北町ふるさと創生基金条例を廃止する条例

・東北町ふるさと創生基金条例を廃止するものです。

◎東北町交通施設整備事業基金条例を廃止する条例

・東北町交通施設整備事業基金条例を廃止するものです。

◎東北町スポーツセンター管理基金条例を廃止する条例

・東北町スポーツセンター管理基金条例を廃止するものです。

◎東北町人権擁護委員候補者の推薦

・人権擁護委員として、蛸澤孝義氏を推薦するものです。

◎東北町人権擁護委員候補者の推薦

・人権擁護委員として、乙山昭子氏を推薦するものです。

◎東北町人権擁護委員候補者の推薦

・人権擁護委員として、乙山昭子氏を推薦するものです。

◎人権擁護委員候補者の推薦

・人権擁護委員として、駒井健氏を推薦するものです。

◎町有財産の処分について

・町有財産（土地）東北町字乙供120番地1の一部は、78㎡を処分価格38,953,502円で、社会福祉法人 恵徳会へ処分するものです。

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

・東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

◎東北町長が専決処分することのできる簡易な事項の指定

平成30年第2回議会臨時会

7月3日臨時会が開催され、次の議案が可決されました。

◎東北町条例の一部を改正する条例

・生産性の向上特別措置法の施行に伴い、所要の改正を行うものです。

◎東北町条例の一部を改正する条例

・生産性の向上特別措置法の施行に伴い、所要の改正を行うものです。

一般質問

町政を問う

平成30年
第3回議会臨時会

8月7日臨時会が開催され、次の議案が可決されました。

◎工事請負契約の締結

・上北小学校校舎改修工事について、請負契約を締結するものです。

全会一致で可決



市川 俊 光 議員

質問一

米空軍のCV22オスプレイの飛行訓練について

まず最初に、アメリカ空軍CV22オスプレイの飛行訓練について質問いたします。防衛省は8月22日、在日米軍から5機のCV22オスプレイを10月1日に東京の横田基地に配備すると連絡があったことを発表しました。横田基地に配備される5機のCV22オスプレイとは、既にことし4月5日に横田基地に飛来し、首都圏などで飛行や訓練を行っているオスプレイのことです。横田を拠点として、全国の米軍基地にも飛行を繰り返し、三沢基地には7月17日に初めて飛来し、その後たびたび飛来を繰り返しています。この間のCV22オスプレイの行動は、横田基地への最初の飛来がその2日前に突然発表されるなど、極端に情報

を隠蔽した中で進められています。首都圏での飛行訓練も、三沢基地への飛来も事前の情報提供や関係自治体の了解を得ることなく行われています。首都圏の関係自治体からは、こうした傍若無人なCV22オスプレイの運用に対して、抗議や批判の声が上がっています。

垂直離着陸機オスプレイは、事故率が高いことで知られていますが、米空軍のCV22オスプレイは特殊作戦部隊の輸送が任務であり、沖縄海兵隊のMV22オスプレイよりも事故率が高いことが指摘されています。こうした危険な機体が、事前に運用情報も示さずに我が町の上空をたびたび飛行していることに対しては、強い不信と不安を抱かざるを得ません。町はこの間、情報提供もなく繰り返されているCV22オスプレイの飛来について、どのように受けとめているのでしょうか。町としてのご見解をお聞かせください。

既に日本の国土を我が物顔に飛び回っているCV22オスプレイが10月1日からは正式に横田基地へ配備となります。米軍が2015年に示したCV22オスプレイの配備に

関する環境レビューでは、日本国内で訓練を行う6つの訓練区域の一つに三沢対地射爆撃場が含まれています。三沢での訓練が行われれば、我が町や小川原湖など、この地域の上空をCV22が頻繁に往来することが予想されます。横田基地のCV22オスプレイは、2024年までに10機体制にまで増強されることも明らかになっています。CV22オスプレイの横田基地配備は、我が町がこれまで悩まされてきている戦闘機の騒音や事故の危険などのリスクをさらに大きなものにするものになると考えます。町は、米空軍のCV22オスプレイの横田基地正式配備のもと新たなリスクにどのように対処するお考えなのか、ご見解をお聞かせください。

質問二

畑など耕作地域の道路整備について

次に、畑など耕作地域の道路整備について質問いたします。豪雨や台風など、自然災害による被害が各地で頻発しています。近年起きている災害では、住民の経験を大きく

超えた甚大な被害に至るケースも少なくありません。町は、日ごろから防災を町の重要施策として進めていると受けとめています。各地で起きている災害の経験も把握しながら、より一層効果的な防災の強化に努めていただくことをお願いするものであります。

さて、農業を主力産業とする我が東北町においては、こうした豪雨災害から畑や田んぼなどの耕作地を守ることも大切な課題であると考えます。私は、平成27年3月定例会で行った一般質問で、農作業車の大型化に対応することや、大雨被害から耕作地を守るためにも、耕作地内の道路整備を計画的に進めることを求めました。その際町からは、整備計画を策定して進めていく旨の答弁をいただいていると記憶しています。

昨今各地の農村部で若者が減少し、耕作放棄地がふえたり、大雨や台風被害で耕作に困難が生じている状況を見聞きすると、耕作地に人の手が行き届くようインフラを整備していくことの重要性がますます高まっていると感じます。大雨によって道路が損壊したり、敷いている砕石が耕

作地内に流れ込むような被害をなくしていくよう、耕作地の道路整備を着実に進めていただくことが大切であると考えますが、町としての取り組みの状況と今後の見通しをお聞かせください。

質問二

青い森鉄道上北町駅トイレの改善について

最後に、青い森鉄道上北町駅トイレの改善について質問いたします。青い森鉄道上北町駅のトイレは、男女共用で、くみ取り式のままであります。上北町駅トイレについては、従来から改善の要望があり、町議会でも取り上げられてきた経緯があります。町としても青い森鉄道など関係機関に働きかけを行い、改善を求めているものと承知しています。しかし、なかなか改善の見通しが見えないまま今日に至っているのが現状だと思います。

こうした中、ことし8月、この上北町駅トイレの入り口に「女子トイレ故障中、ホーム側のトイレご利用お願いします」という張り紙が張り出されました。トイレの入り口

を入ると、3つある女性用トイレ全てに「故障中、使用禁止」の張り紙が張られて、ホームとの柵を一部開放し、ホーム内のトイレへ誘導する臨時の通路が設けられています。張り紙だらけになった駅のトイレは、男性は使用可能なものの、故障中の張り紙によって、いかにもみずばらしく感じられました。後日この張り紙は、トイレ内で蜂が発生し、その対策のためであったことを聞きましたが、この状況を多くの町民が目にしたことから、駅トイレの改築、水洗化への要望が非常に強いものになっています。最盛期から利用客数が大分減少しているとはいえ、鉄道は重要な交通手段であり、交通弱者と言われる方々を含め、いろいろな人が利用しています。また、駅は町を訪れる人にとっては、その町の入り口であり、そこで町の印象を感じ取る人も少なくないと考えます。

上北町駅のトイレは、青い森鉄道の管轄のものであり、町が直接関与できるものではありませんが、駅のトイレを男性も女性も障害がある人も安心して気持ちよく使用できるよう改善することは、町と

しても青い森鉄道任せにしておいてよいことではないと考えます。上北町駅トイレを早急に改築、水洗化し、誰もが気持ちよく利用できるようにするため、町としてどう取り組んでいくお考えなのか、ご見解をお聞かせください。

以上、よろしくお願いいたします。

答 弁

町 長

○関係省庁や関係部局に対し、機会あるごとに迅速、丁寧な情報の提供を強く要請し、町民の不安解消に向けた取り組みに努めてまいりたい。

○国、県、町、受益者の負担金、あるいは雨水等の流末状況等について十分な検討をし、計画的に事業を実施してまいりたい。

○青い森鉄道対策室へ上北町駅トイレ改修について重ねて要望してきているところであり、今後におきましても青森県に対し要請してまいりたい。

一般質問通告のありました質問事項1の米空軍のCV22オスプレイの飛行訓練についてお答えをいたします。まず、1点目の正式配備前から首都圏などで飛行訓練を行い、三沢基地へも運用情報の提供もなく飛来を繰り返している状況についてであります。が、米空軍のCVオスプレイは7月17日に三沢飛行場へ飛来して以来、8回にわたり飛来をしておりますが、飛来の情報提供については三沢飛行場への着陸の直前であり、飛来の目的等運用の内容については明らかにされていない状況にあります。また、配備前の飛行訓練につきましては、日米安保条約に基づいての運用と伺っているところでございます。

これらにつきまして、先日三沢防衛事務所を通じて、東北防衛局長に対してオスプレイの飛来について速やかな情報の提供と飛来の目的を明らかにするよう要請したところであります。いずれにいたしましても、今後においても機会あるごとに迅速、丁寧な情報の提供をするように強く要請してまいりたいと考えております。

次に、2点目のCV22オス

プレイは、横田基地に正式配備されるが、三沢対地射撃撃場での訓練も想定されることから、我が町にとっては新たなリスクと考えるが、どのように対処するかについてであります。CV22オスプレイにつきましては、10月1日に横田飛行場に5機配備する旨の連絡を受けております。また、CV22の横田飛行場配備に関する環境レビューでは、運用場所として、東富士演習場や沖繩の訓練場のほか、三沢対地射撃撃場も挙げられております。こうしたことにより、今後三沢飛行場や三沢対地射撃撃場を使用した訓練が想定されます。

オスプレイについては、これまでの経緯からトラブル等への懸念が生じていることは私も承知をしております。今後想定される飛行訓練においては、整備、点検等の徹底、安全管理体制の確保等に万全を期し、速やかな情報提供など、これからも機会あるごとに関係省庁や関係部局に対し強く要請をし、町民の不安解消に向けた取り組みに努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、質問事項2の

畑など耕作地域の道路整備についてであります。畑など耕作地域の舗装整備については、町内会、農業団体等、受益者からの要望をもとに、国、県、町、受益者の負担により、農業農村整備事業で計画的に実施しております。この事業は、計画、調査、実施で数年から10年を事業期間としております。現在の農業農村整備事業は、平成27年度から平成35年度までの9年間で7路線、7,000メートルの計画となっており、今現在の4路線、約4,000メートルの測量が終わっておりまして、今後の要望地区については、事業終了後からとなりますが、国、県、町、受益者の負担金、あるいは雨水等の流末状況等について十分な検討をし、計画的に事業を実施してまいりたいと考えております。

次に、質問事項3の青い森鉄道上北駅トイレの改善についてお答えをいたします。このトイレは、いわゆる並行在来線から青い森鉄道への移行時にJR東日本から青い森鉄道に移管をされ、現在は青森県が所有し、株式会社青い森鉄道の管理となっております。

質問の要旨であります町の対応についてであります。昨年私が町長就任後、6月に開催された青い森鉄道の取締役会の席上において、駅は町の顔であり、観光や景観等を考慮すると、トイレの水洗化は必要であるということ申し上げ要望したほかに、これを所管する青い森鉄道対策室へも上北駅のトイレ改修について重ねて要望してきているところであります。

今後の見通しにつきましては、青森県にお伺いしたところ、トイレ等施設改修については現在協議しているところであり、将来的には改修したいとの回答でありました。この件につきましては、今後におきまして青森県に対し要請してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いを申し上げます。答弁とさせていただきます。



各委員会の活動（7月～9月）

★総務企画常任委員会

開催日	事 件（内容）
8月22日	所管事務調査 (1) 財政課 ① 実質収支に関する調査の年度比較について (2) 税務課 ① 平成29年度町税の決算状況について

★産業建設常任委員会

開催日	事 件（内容）
8月23日	所管事務調査 (1) 建設課 ① 岩渡沢川改修事業における護岸の変位について (2) 農林水産課 ① F16戦闘機燃料タンク投棄事故に係る漁業補償交渉経過について

★教育民生常任委員会

開催日	事 件（内容）
8月24日	所管事務調査 (1) スポーツ振興課 ① 東北町運動公園施設利用状況について

★議会運営委員会

開催日	事 件（内容）
8月31日	(1) 会期日程について ① 平成30年第3回東北町議会定例会付議事件の概要 ② 議会提出案件（予定）等 ③ 一般質問通告状況（8月30日正午までに通告） (2) 決算審査特別委員会の正副委員長の選任について

★議会広報特別委員会

開催日	事 件（内容）
7月31日	(1) 議会だより第53号の編集について



委員会報告

○総務企画常任委員会

(8月22日開催)

委員長 沼山英隆
所管事務調査結果

〈8月22日〉



財政課関係

町側から、実質収支に関する調査の年度比較について説明を受けた。

区 分	平成29年度	前年度比
歳入総額	12,362,652千円	94.7%
歳出総額	12,047,025千円	94.7%
歳入歳出差引額	315,627千円	92.4%
繰越明許費繰越額	85,136千円	54.7%
実質収支額	230,491千円	124.0%
実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	190,000千円	135.7%
翌年度への繰越額	40,491千円	-

平成29年度町税決算書

区 分	現年分徴収率	滞納繰越分徴収率	不納欠損額()は現年分の額
町民税	97.9%	25.1%	4,852千円 (0千円)
法人税	99.3%	51.5%	207千円 (0千円)
固定資産税	98.2%	16.0%	10,935千円 (237千円)
軽自動車税	96.2%	17.1%	943千円 (26千円)
国民健康保険税	93.8%	17.2%	38,402千円 (121千円)

税務課関係

町側から、平成29年度町税の決算状況について説明を受けた。

平成29年度青森県市町村税滞納整理機構移管及び徴収状況滞納整理機構移管者 226人

区 分	平成28年度	平成29年度
町民税	29,966千円	17,988千円
固定資産税	12,518千円	11,511千円
軽自動車税	773千円	555千円
法人税	0千円	953千円
国民健康保険税	34,775千円	32,857千円

【質疑】現年分の不納欠損にした理由は何か。

【回答】固定資産税に関しては、滞納者が死亡しており相続人である家族が財産放棄をした場合等であり、国民健康保険税は生活保護の扶助を受けている場合等が不納欠損とする理由です。

【質疑】滞納繰越の不納欠損額が大きいが、町としてどう考えているのか。

【回答】税の不公平をなくすために町としても徴収対策に万全を尽くし、納税に関する意識づけを高めていきたいと考えている。

また、徴収対策会議を開催

し、各課合同で夜間徴収等を実施している。
その他

【質疑】来年、新元号になるが西暦と併記することを検討できないか。

【回答】併記できるか調査し検討したい。

○産業建設常任委員会

(8月23日開催)

委員長 瀬川武春

所管事務調査結果

〈8月23日〉



建設課関係

町側から、岩渡沢川改修事業における護岸の変位について説明を受けた。

・岩渡沢川改修事業における護岸の変位について

○護岸の変位の状況

5月の常任委員会時では、

護岸の変位が40cm程度だったものが、現在は、57cmとなっている。

○補修工事

地質調査の分析結果を基に、別紙のとおり3種類の工法について、コンサル及び防衛局と協議を重ねてきた結果、C案を中心に協議が進んでいるが、第三者からの意見を聴取するため、八戸工業高等専門学校・清原准教授に意見を求めたところ、変位の原因の一つとして、地下水の量等も考えられるのではないかと、その調査も必要ではないかという意見が出され、現在、現場において、地下水について調査中である。その結果を踏まえ、清原准教授から再度意見を聴取する予定となっている。

○補修工事等の財源

補修工事に係る財源について

30国債事業(補助事業)としての扱いとなる。

平成29年度で減額した補助金94,628千円について補修工事終了後の交付となる。

○9月議会定例会の補正予算案の概要

平成30年度一般会計補正予算案
歳入 14款2項1目 岩渡沢川改修事業費

補助金 △715千円
20款5項2目 過年度補給支処周辺障害防止事業費補助金 94,627千円

歳出 2款7項3目9節 旅費 普通旅費 506千円

13節 委託料 調査設計料 4,000千円

15節 工事請負費 35,000千円

【質疑】今現在、地下水の調査中で調査結果も出ないうちに9月補正をして工事をするのか。

【回答】結果が出てからの補正では、工事が遅延するため工事工法を3つ想定し、一番高い額で予算計上させていた

【意見】漁業補償がある程度確定したら全員協議会などで報告してほしい。

○会議開催状況
交渉委員会 7回
メンバ―小川原湖漁協理事
事から5名選任
オブザーバ―町（農林水産課）、県（水産振興課）
小川原湖漁協臨時総会 1回
小川原湖漁協理事会 1回

※今後の予定…平成30年9月1日小川原湖漁協臨時総会開催予定

町側から、東北町運動公園施設利用状況について（平成29年度）説明を受けた。

スポーツ振興課関係

町側から、F16戦闘機燃料タンク投棄事故に係る漁業補償交渉経過について

○教育民生常任委員会

（8月24日開催）

委員長 蛭名竜也

所管事務調査結果

（8月24日）



○北総合運動公園

区分 日数 利用人数

陸上競技場 156日 485人

野球場 29日 312人

多目的広場 89日 328人

テニスコート 141日 847人

すばく東北 240日 804人

グラウンドゴルフ場 63日 720人

合宿所 68日 378人

総合トレーニングセンターメインアリーナ等 26,385人

武道館 233日 240人

剣道室 263日 424人

会議室 3日 38人

海洋センター 195日 524人

体育館 4,524人

艇庫 12日

○南総合運動公園

区分 日数 利用人数

野球場 20日 315人

多目的運動場 7日 452人

ソフトボール場 29日 903人

ふれあいドーム上北室内運動場等 26,008人

町民運動場 24日 657人

町民体育館アリーナ等 26,015人

上北屋内練習場 110日 674人

屋内練習場 1,674人

【質疑】施設の利用日数、利用者数が減っている状況で、今後の施設の運営についてどのように考えているのか。

【回答】町内外にPRしながら、施設の利用率を上げるため各課とも相談、協議していきたい。また、公共施設に対する今後の方針を定めた計画書を作成し、公共施設のあり方を検討していく。



年賀状欠礼のお知らせ

議員による寄付行為や自書以外のあいさつ状は、公職選挙法によって禁じられております。従って印刷による年賀状は欠礼させていただきますので宜しくご理解を賜りますようお願い申し上げます。

東北町議会議員一同

議会の動き (7~9月)

月 日	用 務	月 日	用 務
7月1日	横浜町60周年記念式典	8月23日	東北町秋まつり〈前夜祭〉
7月3日	在日米軍再編6基地議会協議会	8月24日	教育民生常任委員会 東北町秋まつり (合同運行・流し踊り審査及び表彰)
7月4日	全国市議会議長会基地協議会第91回理事会	8月25日	東北町秋まつり (仮装大会審査・表彰)
7月11日	台湾台北市天母中学町長・議長表敬訪問 台湾台北市天母中学来町歓迎会	8月26日	東北町秋まつり (合同運行)
7月12日	県下町村議会議員研修会	8月27日	原子力施設環境放射線等監視評価会議
7月13日	台湾台北市天母中学と上北中学校・東北中学校の交流晩餐会	8月29日	小川原湖環境保全対策特別委員会
7月17日	臨時議会	8月31日	議会運営委員会
7月19日	全国森林環境税創設促進議員連盟第25回定期総会	9月1日	敬老会
7月21日	第33回わかさぎマラソン大会開会式 湖水まつり開幕式 湖水まつり 創作花火大会 開会式	9月2日	県民駅伝競走大会東北町チーム慰労会
7月26日	東北町分屯基地視察・交流会	9月6日	定例会 (開会) 全員協議会
7月27日	上北郡町村議会議長会 第2回定例会	9月7日	日の本中央まつり・直会
7月29日	第73回市町村対抗青森県民体育大会解団式	9月8日	日の本中央まつり
7月31日	東北町納税貯蓄組合連合会定例総会	9月9日	日の本中央まつり
8月3日	青森銀行上北町支店青友会 納涼パーティー	9月11日	定例会
8月4日	東北町戦没者追悼式 東北町遺族会総会 けやき夏まつり 夏まつり (東北町商工会) ぽぷら夏まつり	9月12日	定例会
8月7日	臨時議会	9月13日	定例会
8月8日	国道394号整備促進期成同盟会通常総会	9月26日	洪水痕跡標示板除幕式
8月11日	おがわら湖191物産フェアオープニングセレモニー	9月30日	第9回おがわら湖美味満彩祭り 第7回P-1グランプリ
8月15日	東北町成人式		
8月16日	第12回しちのへ夏まつり 開会セレモニー		
8月20日	新設中部上北学校給食センター視察		
8月22日	総務企画常任委員会		
8月23日	産業建設常任委員会		

☆お知らせ

東北町テレビ

(東北町自主放送
11チャンネル)

町議会12月定例会
放送予定
(12月上旬)

放送日程や内容は、リモコンの「番組表」ボタンで確認することができます。

議 長 笹 倉 健

議会広報特別委員会

委員 長 田 嶋 悟

副委員長 市 川 光

委員 員 瀬 川 春

委員 員 沼 山 英 隆

委員 員 沼 山 浩 幸

委員 員 蛸 名 竜 也

TEL 0176-56-3111

FAX 0176-56-3110

今月は「議会だより第54号」をお届けします。

本号は、9月定例会を主に編集しましたが、内容の一部を要約しておりますのでご了承願います。

議会広報特別委員会では町民の皆様にご覧いただける紙面作りを心がけております。ご意見、ご要望等がありましたら匿名でも結構ですのでご投稿をお願いします。

